

水産庁

先輩からのメッセージ

一般職行政(R7年入庁)K先輩

漁政課船舶管理室で海事職員の労務管理業務を担当しております。業務内容は、漁業調査及び取締航海に係る船舶との連絡・調整業務や海事職員の人事管理等多岐に渡ります。業務を通して、日々多くの学びがあり、充実した日々を送っています。水産庁では研修への参加を後押しする雰囲気があり、入庁半年ですが、様々な研修を受講させていただきました。また、休暇取得のしやすい空気感もあり、先日は事務系、海事職の先輩・同期と年次休暇を活用し、旅行へ行ってきました！皆様の業務説明会及び官庁訪問へのご参加を心待ちにしております！

一般職行政(R7年入庁)M先輩

国際課で職員の外国出張に係る手配、各国行政官を対象とした水産関連の研修での講義や視察の実施、他国の水産大臣等が訪日した際の表敬対応、関係する国際会議への出張等の業務を行っています。水産の知識はほぼゼロでしたが、幼少期から海が好きで、また水産庁の暖かい職場の雰囲気に惹かれ入庁しました。業務を通じて学ぶ機会も多く、水産庁でしか経験できない行事もたくさんあります。周りには経験と知識が豊富な先輩職員がいますので、少しでも興味がある方はぜひ説明会に来ていただきたいです！

一般職土木(R7年入庁)T先輩

私は工学系職員として、事業課で水産基盤(漁港や漁場など水産業を支えるインフラ)の整備を担当しています。具体的には、魚礁ブロックの製作・投入など、漁場の機能向上を目的とした事業に関わっています。発注する業務や工事の受注者と頻繁にやり取りを行うため、日頃から現場の実情を踏まえた対応を心がけています。入庁当初、水産に関する知識はほとんどありませんでしたが、業務を通じて新しい知識を吸収し経験を積む中で、成長を日々感じています。職場の雰囲気が温かく、分からないことも相談しやすいので、安心して働ける環境が整っています。

水産庁では、水産業に携わる人が安全に安心して働ける環境を整え、国民の皆様へ安定的に水産物を供給するための仕事をしています。

漁業のほか、水産加工業や水産物の流通・消費など水産業に関わる幅広い分野を扱っており、水産資源の管理や水産物の輸出・輸入に関する国際交渉、漁船の取締、漁港整備、漁村振興などのさまざまな任務があります。

キャリアパス

本庁採用の場合、本庁を中心に約2年ごとに異動しながら様々な場所で様々な業務を経験します。

通常、8年目以降に係長、17年目以降に課長補佐に昇進します。



本庁：霞が関
地方機関(漁業調整事務所)：札幌、仙台、新潟、境港、神戸、福岡

研修

- ・初任者研修
- ・英会話研修
- ・漁村研修 etc.

職員数

- 事務系 約300人
- 技術系 約450人
- 海事職 約250人



お問合せ先
〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1
水産庁漁政部漁政課人事班
TEL: 03-3502-1956
H P: <https://www.jfa.maff.go.jp/index.html>

採用HP



パンフレット

